

大垣市長 小川 敏 様

美濃路大垣宿景観まちづくり計画書 提 言 書

私達の先人は、長い時間をかけ、創意工夫の積み重ねから、慎ましく懸命に様々な文化を築き、その結果として、地域特有の景観を形成してきました。しかし、現在、合理性・利便性・利益追求を背景とした社会構造の変化に伴い、大垣市の景観についても大きな変革期を迎えようとしています。

そのような中、景観法が施行されたことにより、行政をはじめ、まちづくりに関心を持っている地域の皆さんも、あらためて、景観に関心を寄せたのではないのでしょうか。景観法を活かしたまちづくりは、住民にとって快適な住環境をつくることに加え、先人達が築き上げてきた地域特有の文化を景観に反映させることにより、住民のまちに対する愛着や誇りを育み、地域外の多くの人々がまちを訪れる、「住み続けたい・住んでみたいまちづくり」につながると思います。

美濃路大垣宿の景観まちづくりは、「生活環境の向上」、「歴史・文化の再発見」、「大垣の活性化」の3つの理念に基づき、ある場所では美濃路大垣宿を復活させ、ある場所では修景し、また、ある場所では新しい景観を創造しようとするものです。

本計画の策定にあたっては、これまで2年間にわたり「美濃路大垣宿景観づくりの会」や「美濃路大垣宿まちづくり策定委員会」で、活発な意見交換を行ってきました。

美濃路大垣宿には、豊かな人生経験に加えて、歴史や文化に造詣が深い人、施設の造形に強い人、自然を大切に人、人や動物にやさしい人と様々な人が生活しています。そのため、地域の皆さんからの意見は、足を地に着けた堅実な意見であり、時には新鮮で示唆的でありました。また、地域の皆さんは、自らのまちを愛し、安全で安心できる美しいまちにしていきたいと、力を合わせようとしていることが伝わってきました。

そのため、大垣市には、継続的に住民の関心を喚起し、称揚し、また、その努力をさらに高めるため、財政面を含めた支援、及び景観まちづくりを推進する組織体制の構築を期待します。また、地域の皆さんには、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、自らのまちは自らが築いていく住民主導の景観まちづくりに組織的に取り組むことに期待します。

今後は、少しでも歴史を伝える文物があれば、それをより深く理解し、行政と住民が協働して、まちの魅力につなげていくことが必要だと思えます。また、その結果がたとえ新しい景観であっても、その背後に美濃路大垣宿の歴史の積み重ねを十分に感じさせてくれると思えます。

美濃路大垣宿の景観まちづくりが具体化し、「住み続けたい・住んでみたいまち」になるよう、『美濃路大垣宿 景観まちづくり計画（案）』をここに提言いたします。

平成 19 年 1 月 24 日

美濃路大垣宿まちづくり策定委員会
座 長 吉見 静子